

申請者氏名:

研究題目:

【作成上の留意事項】

- (1) 書体は、日本語は游明朝体(又はヒラギノ明朝)、英数は Times New Romanを推奨します。
- (2) フォントサイズは11ptとしてください。参考文献のみサイズ変更可。参考文献も含めて指定のページ数内としてください。
- (3) この様式以外で作成したものは審査対象となりません。
- (4) 斜体は提出時削除可能です。
- (5) 行間や余白の指定はありません。
- (6) 研究計画書の氏名は、申請フォームに入力した氏名にしてください。

【00】研究の概要

【01】「研究背景、研究目的、研究方法」および「【02】研究成果の我が国における社会展開や社会実装に向けたアイディア」に記載した内容の概要について、焦点を絞り、図表を含めてもよいので、**1頁以内**で簡潔にまとめて記述してください。斜体部分の記載は提出版では削除ください。

【01】研究背景、研究目的、研究方法(配点:各5点)

- ①フェローシップにおいて取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯について、参考文献を挙げて記入してください。(配点:5点)
- ②目的、年次計画、方法等について、どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的かつ明確に記入してください。(配点:5点)

(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。2頁以内とすること。)

※在学生はこれまでの研究業績を中心に記述していただいても構いません。斜体部分の記載は提出版では削除ください。

① フェローシップにおいて取り組む研究の位置づけ

② 目的、年次計画、方法等

【02】研究成果の我が国における社会展開や社会実装に向けたアイデア(本フェローシップに応募する理由)(配点:5点)

研究成果が科学技術、産業、文化など、幅広い意味で社会に応用、実装するに至るアイデアや、新たに創出される社会的価値などについて記述してください。

(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。1頁以内とすること。)

斜体部分の記載は提出版では削除ください。

研究成果の我が国における社会展開や社会実装に向けたアイデア

【03】研究遂行能力の自己分析、研究業績（配点：5点）

（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。4頁以内とすること。）

斜体部分の記載は提出版では削除ください。

①応募者の研究遂行能力

（これまでの研究活動の具体的な内容等により本研究を遂行するための能力を示す等、必要に応じて今回の研究構想に直接関係しないものを含めてもよい。例：専門分野に直接関係しない授業や特別教育プログラムの履修や参加、シンポジウム・セミナーへの参加状況、留学経験、学内外における団体での活動）

② 研究業績として学術雑誌等に発表した論文および総説、国際会議・国内学会・シンポジウム等における発表、特許等、受賞歴等

成果物のリストを下記のカテゴリにしたがって作成してください。通し番号を付すこととし、該当がない項目は「なし」と記載してください。第一著者の成果物ではなくてもリストに加えてよく、申請者名にアンダーラインを付してください。また、査読中のもも記載してもよい。ただし、査読中を示す証明（投稿記録、メール等）の提出を求める場合はある。

1. 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文

査読中／アクセプト済を区分して記載してください。著者（申請者を含む全員の氏名（最大20名程度）を、論文と同一の順番で記載してください）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入してください。

1-1論文（査読あり）フルペーパー

1-2論文（査読あり）レター

2. 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説、著書

3. 国際会議における発表

（口頭・ポスターの別を区分して記載してください。）

著者（申請者を含む全員の氏名（最大20名程度）を、論文等と同一の順番で記載してください）、題名、発表した学会名、場所、月・年を記載してください。発表者に○印を付してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもかまわない。）

3-1.国際会議における発表（査読あり）

3-2.国際会議における発表（査読なし）

4. 国内学会・シンポジウム等における発表

（「3. 国際会議における発表」と同様に記載してください。）

4-1.国内学会・シンポジウム等における発表（査読あり）

4-2.国内学会・シンポジウム等における発表（査読なし）

5. 受賞（国際、国内の区分を記載してください。）

5-1.受賞（国際）（日本国内で開催された国際学会等での受賞はこちらに記載してください。）

5-2.受賞（国内）（留学生が母国で開催された国内学会等で受賞した場合はこちらに記載してください。）

6. 特許等

（申請中、公開中、取得を明記してください。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述でかまわない。）

7. その他

（1. ～6. の区分以外の成果物。受賞歴、学会参加、シンポジウムやセミナーへの参加等）

成果物件数のまとめ（下記表に件数を入力してください。）

	成果物	件数
1-1	論文（査読あり）フルペーパー	

1-2	論文(査読あり)レター	
2	学術雑誌等又は商業誌における解説・総説、著書	
3-1	国際会議における発表(査読あり)	
3-2	国際会議における発表(査読なし)	
4-1	国内学会・シンポジウム等における発表(査読あり)	
4-2	国内学会・シンポジウム等における発表(査読なし)	
5-1	受賞(国際)	
5-2	受賞(国内)	
6	特許等	
7	その他	

【04】自己評価(志望動機、キャリアパス構想等) (配点:5点)

- ①本フェローシップで育成する人材に求められる4つの能力((1)DX・AI推進力、(2)課題抽出・解決力、(3) 社会連携共創力、(4)国際コミュニケーション力)に対する現状の自己分析を行い、これらの能力向上のために本フェローシップをどのように活用したいか記述してください。
- ② 自身が目指すキャリアパスとその実現のために、本フェローシップにおいてどのような取組を行うのか、記述してください。

(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。1頁以内とすること。)

斜体部分の記載は提出版では削除ください。

- ①4つの能力に対する現状の自己分析及び、これらの能力向上のために本フェローシップをどのように活用したいか。

- ② 自身が目指すキャリアパスとその実現のために、本フェローシップにおいてどのような取組を行うのか。